

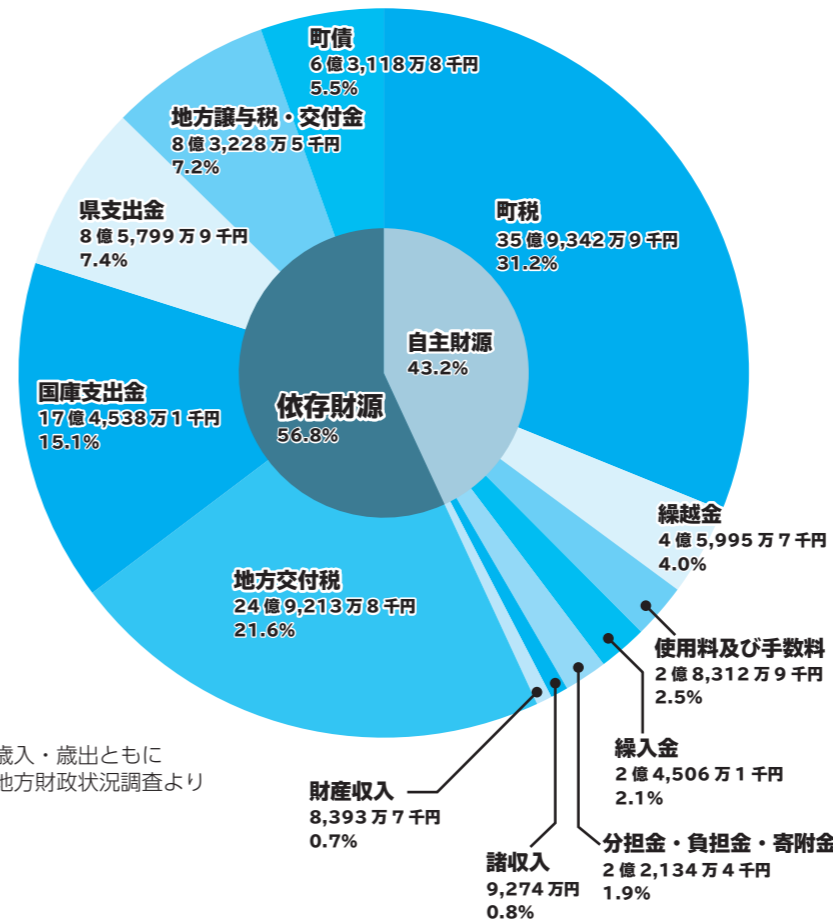
平成29年度決算報告

平成29年度の決算が、平成30年9月定例議会にて審議され、9月19日の本会議において認定されました。一般会計歳入歳出決算の実質収支は、3億3,125万7千円の赤字となりました。また、平成29年3月に策定した「財政改革推進プラン」に基づき歳入・歳出改革に取り組んだ結果、財政構造の弾力性を表す指標である経常収支比率（※1）は、前年度から2.4ポイント改善し、96.5%となりました。

しかし、今後も社会保障費の増加や公共施設等の大規模改修をはじめとした財政需要の増加が想定され、これらに対応するため、事業の選択と集中を徹底していく方針です。

※1 財政構造の弾力性を測定する指標で、この比率が低いほど、普通建設事業等の臨時的経費に充当できる一般財源に余裕があり、財政構造が弾力性に富んでいることとなります。

歳入 115億3,858万8千円



※歳入・歳出ともに
地方財政状況調査より

項目	金額 (千円)	対前年比
経済収支比率	96.5%	対前年比 2.4ポイント改善
基金残高 (町の貯金)	15億9,039万4千円	対前年比 2億5,199万4千円増
町債 (町の借金)	101億1,420万4千円	対前年比 1億9,231万2千円減

特別会計決算額 (特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計です)

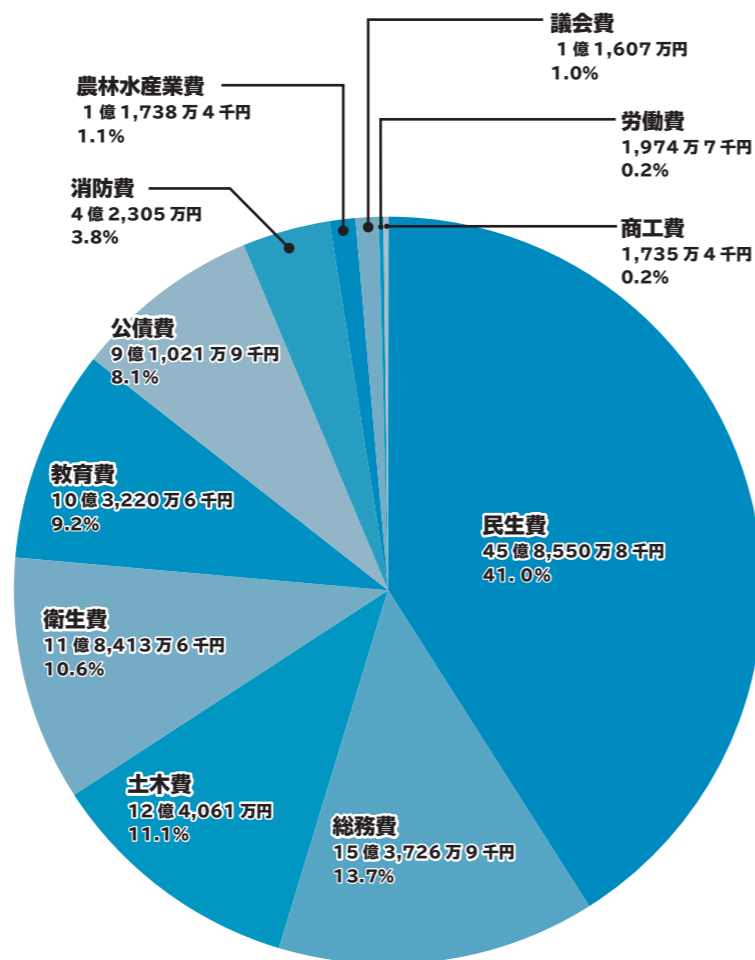
会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	45億7,041万6千円	45億7,882万8千円	△841万2千円
後期高齢者医療特別会計	4億282万7千円	3億7,903万5千円	2,379万2千円

公営企業会計決算額 (自治体でも法律で収益が認められている公営企業の会計です)

会計名	区分	収入	支出	収支差引額
上水道事業	収益的収支	7億6,768万9千円	6億8,995万2千円	7,773万7千円
	資本的収支	3,712万7千円	2億4,855万9千円	△2億1,143万2千円
流域関連公共下水道事業	収益的収支	8億8,655万6千円	8億7,924万9千円	730万7千円
	資本的収支	5億4,933万2千円	7億8,759万6千円	△2億3,826万4千円

※収益的収支：上下水道料金などの収支 資本的収支：施設建設などの収支

歳出 111億8,355万3千円



平成29年度の主な事業

総務費

町誌編さん事業	944万6千円
ふるさと宇美町応援寄附事業	852万9千円
地域コミュニティ支援事業	6,899万8千円
100周年事業推進事業	308万5千円
ファイナンシャルプランニング事業	64万8千円

民生費

福祉巡回バス運行事業	4,097万6千円
臨時福祉給付金給付事業	1億94万9千円
学童保育事業	6,066万1千円
町立保育園運営事業	3億5,529万6千円
民間保育施設整備事業	2億1,769万3千円

衛生費

各種健診等事業	4,241万7千円
予防接種事業	8,118万2千円
ごみ処理事業	5億8,329万3千円

労働費・農林水産業費・商工費

働く婦人の家運営事業	1,974万7千円
農業基盤保全事業	1,706万5千円
プレミアム付き商品券発行事業	249万5千円

土木費

道路橋りょう維持管理事業	8,856万2千円
公園管理・整備事業	1億710万5千円
町営住宅建設事業	5億538万3千円

消防費

消防団活動支援事業	3,655万3千円
防災ハンドブック配布事業	456万5千円

教育費

学校ICT推進事業	4,033万6千円
つながる食育推進事業	178万8千円
宇美小プール改修事業	1,093万円
私立幼稚園就園奨励事業	8,871万円
町立図書館資料整備事業	846万3千円
各種体育施設管理事業	6,714万5千円

公債費 9億1,021万9千円



◀ 宇美町民のための『わが家の防災ハンドブック』(平成30年3月初版第1刷発行)

健全化判断比率と資金不足比率

財政の健全度を測る4つの指標と公営企業の資金不足比率について、算定結果を下記のとおり公表します。平成29年度決算に基づく町の健全化判断比率などは、いずれも早期健全化基準(=黄色信号)以下の水準を保っています。

	宇美町	早期健全化基準 (黄色信号)	健全再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	- (※)	14.07%	20.0%
連結実質赤字比率	- (※)	19.07%	30.0%
実質公債費比率	9.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率	29.1%	350.0%	
資金不足比率	- (※)	20.0%	

※赤字が発生していないため、表示される数値はありません。



完成した昭和町町営住宅 (1棟)